

<令和8年4月定例記者会見>

1 開催日時

令和8年4月8日（水）午前10時30分～午前11時10分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、朝日新聞社、NHK盛岡放送局、岩手日報社、河北新報社

4 発表事項

【案件外】

○市長年度初めの挨拶

年度当初のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。記者会見の冒頭をお借りし、一言所感を申し上げます。

はじめに、昨年度も市のさまざまな情報発信に対し、御理解と御協力を賜りましたことに、改めて御礼申し上げます。

さて、令和八年度がスタートいたしました。現下の情勢を見ますと、国際社会では先行き不透明な状況が続き、国内では人口減少の進行や物価高騰により、市民生活を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

このような中、本市において令和八年度は、社会的包摂性の高い地域社会「やさしさに包まれた滝沢」の実現を目指す第2次滝沢市総合計画の3年目に当たります。前期基本計画に掲げる「市民主体の地域づくり活動への支援と市民生活の基盤の堅持」の実現に向け、各取組をさらに推進するとともに、次期計画を見据え、市民の皆様との対話を重ねながら、地域の在り方や地域づくりについて全市的に考える取組を進めてまいります。

この総合計画を推進する重要な予算となる、令和八年度一般会計予算につきましては、過去最高規模となる240億円を計上し、先月の市議会3月会議において議決をいただきました。本予算には、コミュニティバス実証運行の実施や母子健康手帳アプリの導入といった新たな取組に加え、介護・障がい・子ども・子育て、生活困窮分野における既存の取組を踏まえた、切れ目のない包括的な相談支援体制の整備、さらには若者が活躍できる環境づくりや、ICT企業の集積を促進するための新たな産業用地の整備など、滝沢市の新たな価値創出につながる内容を盛り込んでおります。議決いただいた予算につきましては、適切かつスピード感のある執行に努めてまいります。

新年度を迎え、新たな環境でスタートされた方も多いことと思います。市ではこの4月、14人の新たな職員を迎えました。新たに加わった職員も含め、全職員の力を結集し、私が先頭に立って、活力と幸福を実感できる地域づくりを進めてまいります。引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

(1) たきざわフラワーフェスティバルの開催について（観光物産課）

一般社団法人滝沢市観光物産協会主催の「たきざわフラワーフェスティバル」が滝沢総合公園を会場に初開催されます。

滝沢市の憩いの場である滝沢総合公園で、花に関するイベントを行うことで、緑豊かで美しい花がある滝沢市のPRと県内外に向けた新しい交流の場の周知を目的とし

ています。

花生産者及び花販売事業者による販売、寄せ植え体験、ガーデニング相談コーナー、作品展、ステージイベント等もごございます。

協会員による飲食・物販テントの出店、一般の方の参加型フリーマーケット出店販売もごございます。ぜひ、皆様のご来場をお待ちしています。

(2) たきざわ桜ライドの開催について（観光物産課）

一般社団法人滝沢市観光物産協会主催の「たきざわ桜ライド」が小岩井駅を起点に開催されます。昨年に続き、2回目の開催です。

e-bikeによるサイクリングで、小岩井駅を出発し、小岩井農場近傍の桜や新鬼越池付近からの岩手山展望地等を巡ります。

初開催となった昨年は、参加者から大変好評をいただきました。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

(3) 令和8年度鞍掛山山開き式について（観光物産課）

岩手山の麓にあります鞍掛山は、毎年、県内外から2万人近くの登山者が訪れておりハイキング気分でも気軽に登れることから、多くの方々に賑わいを見せています。

また、季節によって、景色が変わる鞍掛山はリピーターも多く、毎日登られる方もいるなど、多くの登山愛好家にも親しまれています。

今年も、鞍掛山山開き式を昭和の日である4月29日（水・祝）の午前9時から、たきざわ自然情報センター前で開催します。事前申込は不要です。気軽に参加できる行事ですので、皆様、ぜひご参加ください。

(4) 春のたきざわ伝統芸能祭りの開催について（観光物産課）

一般社団法人滝沢市観光物産協会主催の「春のたきざわ伝統芸能祭り」が開催されます。昨年に続き、2回目の開催です。

滝沢市の伝統芸能団体と協会員の活動を応援し、文化振興、地域交流の機会創出、チャグチャグ馬コの出発地をPRすることを目的としたお祭りです。

滝沢市の伝統芸能団体及び釜石市の鶴住居虎舞鶴住居青年会による演舞を予定しております。

また、装束馬によるチャグチャグ馬コ写真撮影&ふれあいコーナー、協会員による飲食・物販テントの出店、神社社務所にてチャグチャグ馬コポスター、絵馬も販売予定です。ぜひ、皆様のご来場をお待ちしています。

(5) 滝沢市共通商品券の配付について（観光物産課）

物価高騰の影響を受ける市民の生活支援と市内経済の活性化を目的に、「滝沢市共通商品券」を配付いたします。

対象は、令和8年3月1日時点で滝沢市の住民基本台帳に記録されている市民の皆さまと、令和8年3月1日から4月30日までに出生し住民登録された方です。

なお、出生による追加配付は、母が令和8年3月1日時点で市の住民基本台帳に登

録されている場合に限りです。

お一人につき6,000円分を世帯主様宛に郵送にてお届けし、申請は不要のプッシュ方式で行います。

商品券の使用期間は、5月1日から10月31日までで、滝沢市内の加盟店でご利用いただけます。

配付開始は4月中を目指して準備を進めております。この商品券を忘れずにご利用いただくことで地域経済の活性化にもつながります。お手元に届きましたら、ぜひ期限内にご利用ください。

(6) クラウドファンディングの実施について（観光物産課）

令和7年度のチャグチャグ馬コでは、装束馬の出馬頭数は61頭と、ピークであった平成2年の102頭から半分近くまで減少しており、大きな課題となっております。

このようなチャグチャグ馬コの現状や課題、馬主さんの思いについて、より多くの皆さんに知っていただき、チャグチャグ馬コの新たなファンの獲得と伝統文化の継承に向けたさらなる支援につなげるため、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施します。

令和5年度から実施している本プロジェクトは、一般的なふるさと納税とは異なり、返礼品なしでのご寄附を多くいただいていることが特徴です。令和7年度は3割弱の方から返礼品なしのご寄附をいただきました。また、岩手県内の皆様から多くのご寄附をいただいております。

本プロジェクトは、滝沢市ふるさと納税に出品している返礼品を受け取ることができず、チャグチャグ馬コにちなんだ特徴的な返礼品もございます。

代表的なものと、本番の行進行事に参加できる「チャグチャグ馬コ参加権」、チャグチャグ馬コに出馬する馬の馬耕により作られた「馬耕米」、市内の馬飼育農家より馬ふんを供給してもらい、それを堆肥として栽培したスイカである「チャグチャグスイカ」がございます。

なお、本プロジェクトにつきましては、マスコミ各社の皆様の周知のおかげもあり、昨年も多くの御支援を賜りました。誠にありがとうございました。人と馬とが一緒に築いてきた風景を後世に残していくため、引き続き皆様の温かい御支援をどうぞよろしく願いいたします。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：鞍掛山山開き式について、クマの出没が懸念される中での開催になると思いますが、登山者へのクマ対策は何か考えていらっしゃるのでしょうか。

市長：例年、岩手山の山開き式の際もですが、爆竹を鳴らし、事前に人間が入山することを示してから行います。今年度は、鞍掛山や市内での出没情報はまだ入っておりません。安全管理の徹底につきましては、山岳協会や観光物産協会と連携しながら進めていきたいと思っております。

記者：クマの出没情報はまだ入っていないとのことでしたが、昨年度の同時期と比較するといかがでしょうか。

市長：この後、担当課からしっかりと情報提供させていただきますが、自然が身近であるということの象徴であると感じています。クマがいるところに人間が踏み込んでいること、その部分に関しましては、我々も自然の中の一部ということで、お互いの距離感を保ちながら、生活できる空間を作っていければと思っています。

記者：クラウドファンディングについて、昨年度の実績をご教示ください。

経済産業部長：令和7年度は目標額100万円に対し138万8千円、113件の寄附がありました。チャグチャグ馬コクラウドファンディングの特徴としては、返礼品が不要という方が、通常のクラウドファンディングでは5%ほどのところ、当クラウドファンディングでは30%おり、多いという特徴があります。また、県内からの寄附も多いというのも特徴であると感じております。

市長：行進行事当日にもビッグルーフ滝沢にて、寄附いただけるブースを用意します。昨年度は、行進行事当日には18万4千人という過去3番目の来場者数を記録しました。今年度も引き続き大きな賑わいをつくり出せるように、また、伝統行事を継承していくための様々な方の思いを伝えていければと思っています。

記者：今年度の目標額も100万円ということでしょうか。

市長：金額だけではなく、伝統文化を継承していけるよう、チャグチャグ馬コのファンを増やしていければと考えています。チャグチャグ馬コ行進は、先頭から終わりまで通るのに約15～20分間です。多くの方がその一瞬のために見に来てくれるという、なかなかない祭りであると思っています。県内外、外国からも多くの方に来場いただいています。さまざまな手法で情報発信が行われる中で、世界各地から応援をいただいています。昨年度は、東京のエルメスから来場いただき、服を製作している方に装束を編む体験を行っていただきました。以前、フランスのイベントにも参加し、シャンゼリゼ通りをチャグチャグ馬コが歩いたことも継承に繋がっていると感じています。チャグチャグ馬コの魅力が広く届くように我々も力を入れていきたいと考えています。

記者：共通商品券について、利用可能事業者はどれくらいの数でしょうか。

経済産業部長：本日配布したチラシ裏面に記載されており、4月3日時点で133店舗です。

記者：このチラシはこの後、市民にも周知されるのでしょうか。

経済産業部長：市民にも同様のチラシを配布します。また、利用可能事業者は今後追加される予定もあるため、その場合は市のホームページなどで随時周知します。

市長：この取組については、銀行へも換金にご協力いただきました。また、現在の原油高騰に乗じ、ガソリンスタンドでも利用できないか商工会とともに声掛けをしています。利用可能事業者については今後も増やしていきたいと思っています。市内事業者の収入になるよう、さまざまな店舗を巡っていただきたいという思いで、商工会と連携して取り組んでいます。早ければ4月10日の発送で準備を進めています。市民の皆様には、ぜひ利用いただきたいと思えます。

記者：チャグチャグ馬コクラウドファンディングについて、他県からの寄附も多く、海外からのファンも多いとのことですが、地元の方以外にも、広く県内外の方に知っていただくため、装束馬の派遣などの事業はあるのでしょうか。

経済産業部長：福島県の相馬野馬追など、さまざまなつながりで声掛けしながら派遣を行

っています。今年度は盛岡市での東北絆まつりへの出演について話を進めているところです。チャグチャグ馬コ保存会とも相談しながら、なるべくさまざまな場所にチャグチャグ馬コを派遣することで周知につなげていきたいと思っています。

市長：令和6年度は、京橋日本橋まつりにチャグチャグ馬コを派遣しました。パレード後に、偶然来場していた滝沢市出身の方が「まさか東京でチャグチャグ馬コを見ることができるとは思っていませんでした」と駆け寄ってくださったことがありました。西日本へのPRがまだ不足していると感じているので、今後は力を入れていきたいと考えています。馬の輸送に関しては、JRAより支援いただいています。正月に放映されたJRAのCMに2カットチャグチャグ馬コを使っていたいただきました。馬事文化の在り方について、今後もJRAと協議しながら進めていければと思っています。また、チャグチャグ馬コの馬については、ヨーロッパ系統の体の大きいブルトン種で、サラブレッドと比べて迫力もあるので、多くの皆様に知っていただきたいと思っています。

経済産業部長：馬の参加頭数だけでなく、チャグチャグ馬コは、関わる方々がいて、信頼関係で成り立っている行事のため、関係者が減っては行事が継続できません。関係者も、さまざまなところに出馬し、見てもらうということでモチベーションも上がり、馬との絆も深まります。そういった意味でも、今後もどんどんチャグチャグ馬コを派遣していきたいと考えています。

記者：チャグチャグ馬コクラウドファンディングについて、改めて市長から市民の皆様へ一言お願いします。

市長：このクラウドファンディングについて、県内外の皆様幅広く応援をいただければと思っています。返礼品も多種多様用意していますので、チャグチャグ馬コの文化を守るため、応援をよろしくお願いいたします。

記者：共通商品券についても、改めて市長から市民の皆様へ一言お願いします。

市長：共通商品券については、物価高騰支援と市内経済活性化を目的に配布するものです。利用可能事業者については、飲食店だけではなく、自動車整備工場、自転車販売など各種用意していますので、ぜひ期限内に市内店舗を巡り、利用していただくようお願いいたします。また、利用可能事業者は追加見込ですので、引き続き周知していきたいと思います。この物価高騰により市内事業者も大変苦慮しているので、支援につなげたいと考えています。当事業は、登録事業者、換金に協力いただいた銀行、商工会の協力があって行うことができたと思っています。

記者：共通商品券に愛称はありますか。

市長：愛称は特にありません。ペイペイを利用することも検討しましたが、手数料もかかるので、商品券の形にしました。その分時間もかかりましたが、印刷会社や郵便局など、地元でお金が循環することを意識しました。